

京極夏彦氏喜ぶ!

「戯作、斯くあるべし」

注目の歴史作家、
初の短編集

狂言作者・河竹黙阿弥のために
台本のネタを探す編集人の幾次郎は、
古本屋の店主から
五篇の戯作を渡される。
『人気者の先生』のお眼鏡に
かなう作品はこれの中にあるのか?



奇説 無惨絵 条々

谷津矢車
やつ やぐるま

河竹黙阿弥に捧げる
珠玉の戯作五篇

『雲州下屋敷の幽霊』

雲州松平家前当主・宗符の侍女となつたお幸は、どんな仕打ちにも恨む素振りを見せない。そんな彼女の背に女の幽霊の刺青を入れさせると……。

『女の顔』

南町奉行所の将右衛門は、材木問屋の娘・お熊が夫に毒を盛つた事件で下女のお菊を取り調べる。彼女が頑なに口を割らない裏には恐るべき事実があった。

『夢の浮橋』

見世物小屋一座の智は若い男に頼まれて、身の上話をはじめ。貧乏漁師の家から吉原に売られた彼女は、花魁の八橋姐さんに可愛がられていたが……。

ほかに「だらだら祭りの頃に」「落合宿の仇討」を収録

谷津矢車(やつ・やぐるま)

一九八六年、東京都生まれ、駒澤大学文学部卒。二〇一二年、「蒲生の記」で第十八回歴史群像大賞優秀賞受賞。一三年、「落合外画狂伝 狩野永徳」でデビュー。デビュー第二作の『罵屋』が評判となり、新進気鋭の歴史時代小説家として注目される。一八年『おもちゃ絵芳藤』で第七回歴史時代作家クラブ賞作品賞受賞。ほかの著書に『安土唐獅子画狂伝 狩野永徳』『刀と算盤 馬津流青春雙六』『しよつたれ半蔵』など。

2019年2月27日(水)発売

定価：本体1600円+税

装画：卯月みゆき

ISBN 978-4-16-390984-4 C0093

この書籍に関する取材・
著者インタビュー
などの問い合わせ先

株式会社 文藝春秋 プロモーション部
〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町 3-23
tel : 03-3288-6142 mail : pr@bunshun.co.jp

